株式会社　エーワン精密

平成26年６月期決算説明会

平成26年6月期　決算説明会資料目次

		ページ
（1） 当社の事業について		
① 当社の事業展開	……	1
② 事業内容・特色	……	2
③ コレットチャック部門	……	3
④ 切削工具部門	……	4
⑤ 自動旋盤用カム部門	……	5
（2） 決算について		
① 決算の概要	……	6
② 損益の状況	……	7
③ 財務の状況	……	8
④ ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰの状況	……	9
（3） 今後の事業展開		
① コレットチャック部門	……	10
② 切削工具部門	……	11
③ 自動旋盤用カム部門	……	12
（4） 添付資料	……	13

当 社 の 事 業 展 開

経営理念
高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事　業　内　容

コレットチャックの製造・販売 （昭和51年～）

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作 （平成１１年～）

自動旋盤用カムの製造・販売 （昭和45年～）

事　業　領　域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

15,000社以上の顧客からリピートオーダーが入る

コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

NC旋盤　2,280億円（2013年生産額）　15,600台

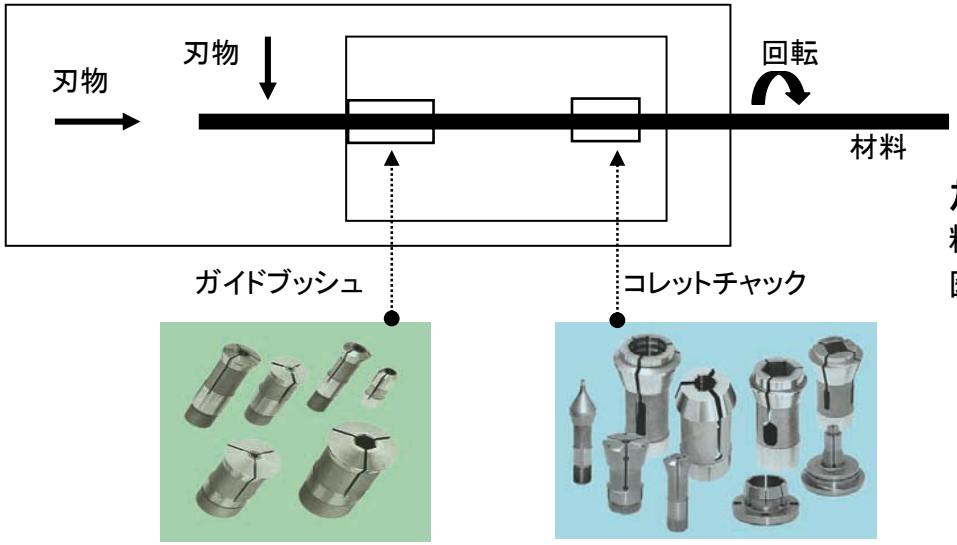
うち　CNC自動旋盤約　1,082億円（2013年推定生産額）

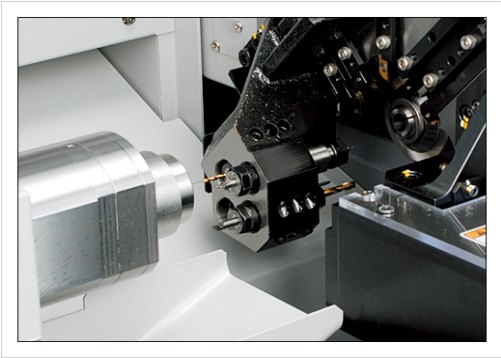
主なCNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリーミヤノ、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機　864億円（2013年生産額）　3,762台





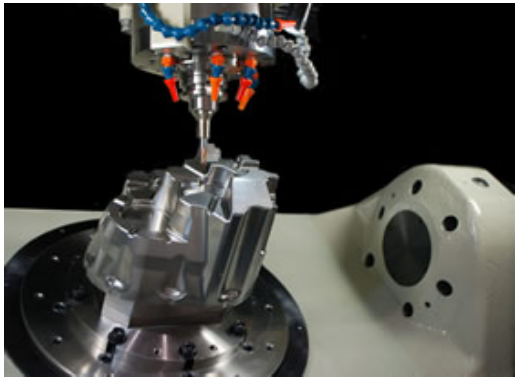
加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器など

切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ



主に切削工具を使用する機械

マシニングセンタ	3,022億円（2013年生産額）	19,070台
NCフライス、中ぐり盤	153億円（2013年生産額）	687台

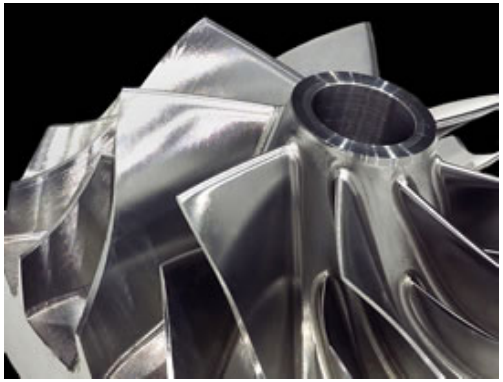
使用される工具

超硬エンドミル	351億円（2013年生産額）
超硬ドリル	260億円（2013年生産額）
その他超硬工具	356億円（2013年生産額）

主なマシニングセンターメーカー

オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

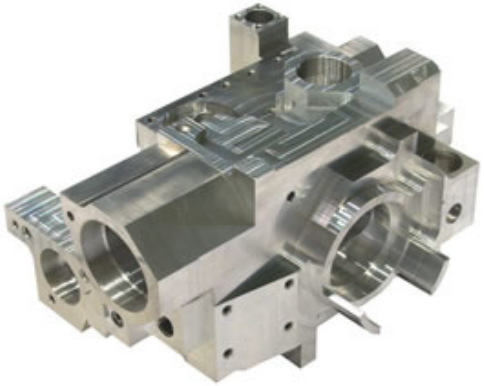
加工部品のイメージ



・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る

・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される

・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い



加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型

自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用されるカムの設計・製作・販売

・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械

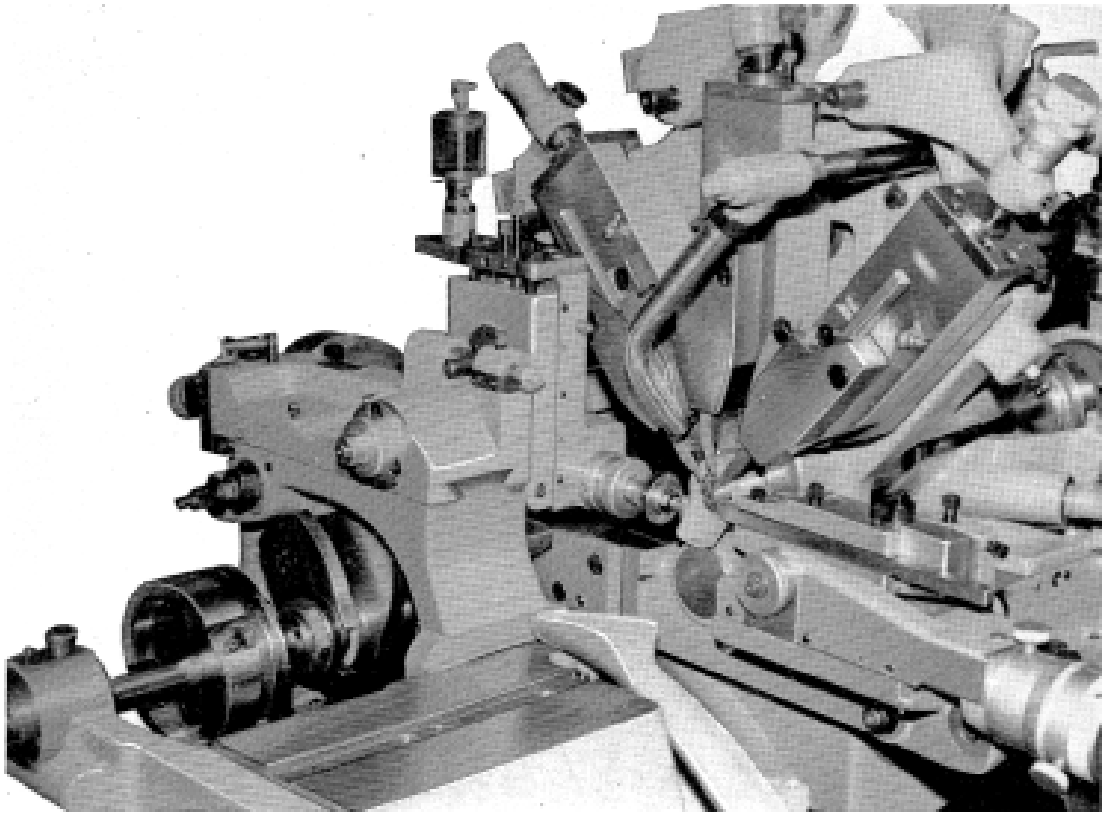
・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない

・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

製品写真

カム式自動旋盤（型番：NS－P1053）

カム取付後写真



平成 26年 6 月期　決算概要

売上	・国内景気は財政支出の下支えと堅調な個人消費で底固い動きを示した。 ・大手企業の業績回復により設備投資の動きが出て、中小企業でも設備新設が出てきた。 ・国内製造業の機械稼働率が上がり、当社の受注も微増となった。
原価	・通常発生する原価であり、特殊要因はなかった。
利益	・有価証券売却益約4,600万円を特別利益に計上した。

人件費

（千円）

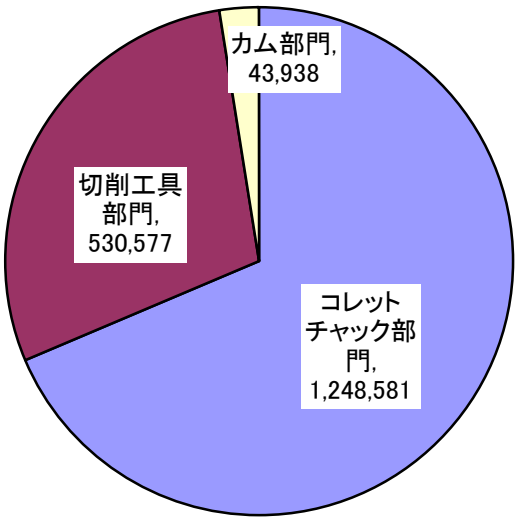
	23期	24期
労　務　費	664,460	711,249
コストに占める比率	49.1%	51.4%

設備投資額と減価償却費

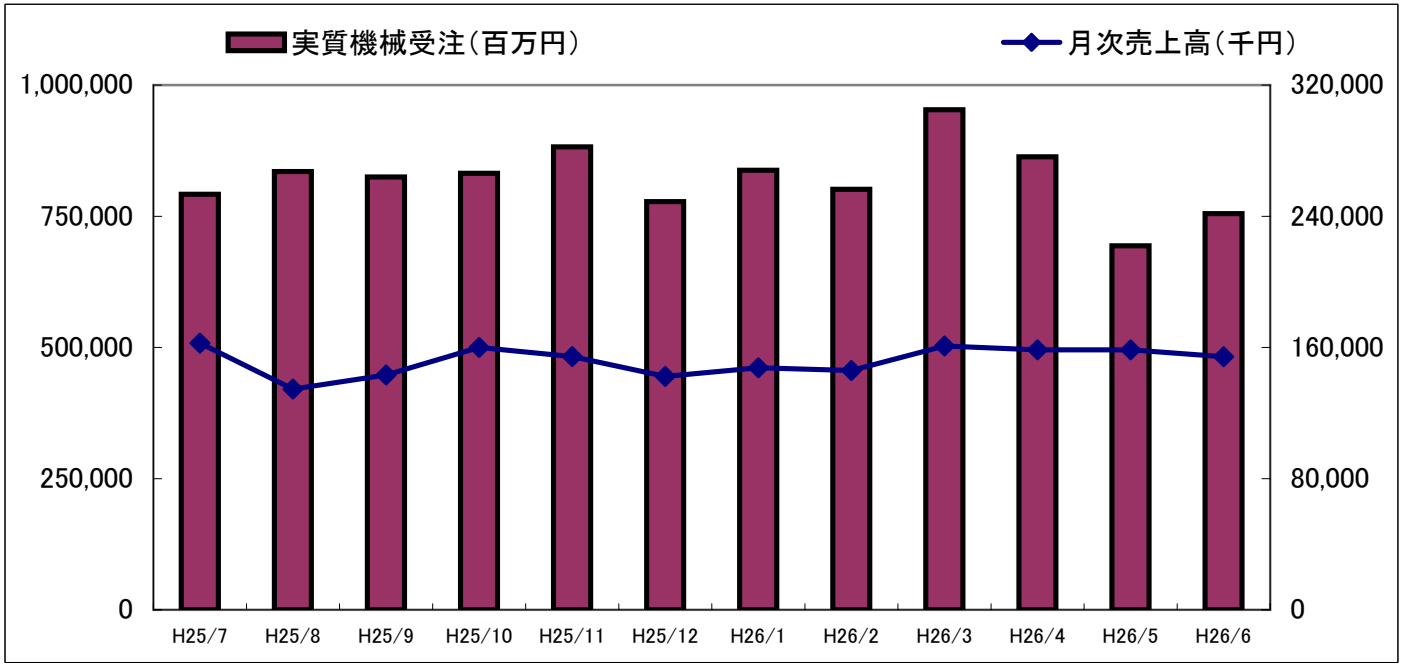
（千円）

	22期	23期	24期
設備投資額	532,629	73,405	140,894
減価償却費	291,159	278,748	239,231

部門別売上構成比（千円）



実質機械受注と月次売上高



平成 26年 6 月期　損益の状況

（単位：千円）

	平成 25 年 6 月期			平成 26 年 6 月期			増 減 要 因
		売上構成比	前年同期比		売上構成比	前年同期比	
売上高							
コレットチャック	1,176,541	68.0%	90.0%	1,248,581	68.5%	106.1%	・国内製造業の機械稼働率が上昇したこと、設備投資助成金を活用し中小企業で設備新設の動きが出たことなどで受注が増加した。
切削工具	514,225	29.7%	100.3%	530,577	29.1%	103.2%	・設備・金型の仕事が増加し、量産品も動きが出て、当社の受注も緩やかに増加した。
自動旋盤用カム	39,217	2.3%	70.3%	43,938	2.4%	112.0%	・アジアと国内の量産品加工が増加したため
合　計	1,729,984	100.0%	92.2%	1,823,096	100.0%	105.4%	
売上原価	1,083,633	62.6%	97.6%	1,102,269	60.5%	101.7%	・減価償却費が減少した。
売上総利益	646,351	37.4%	84.4%	720,827	39.5%	111.5%	
販売費及び一般管理費	269,103	15.6%	95.6%	282,311	15.5%	104.9%	・売上と連動した。
営業利益	377,247	21.8%	77.8%	438,515	24.0%	116.2%	・固定費が減少し、利益率は若干上昇した。
経常利益	400,997	23.2%	78.1%	462,160	25.4%	115.3%	
当期純利益	244,548	14.1%	85.8%	318,980	17.5%	130.4%	

平成 26年 6 月期　財務の状況

（単位：千円）

事業年度 / 資産	平成25年6月期 金額	平成25年6月期 構成比	平成26年6月期 金額	平成26年6月期 構成比	増減要因
現預金	3,987,543	50.4%	4,376,168	53.4%	・利益処分後の当期純利益と減価償却費分が上積み。
売上債権	361,950	4.6%	415,574	5.1%	・期末にかけて売上が上がったため。
棚卸資産	215,849	2.7%	203,544	2.5%	
その他流動資産	22,883	0.3%	23,329	0.3%	
固定資産	3,320,544	42.0%	3,178,048	38.7%	・設備投資　140,894千円、減価償却費　239,231千円
資産合計	7,908,770	100.0%	8,196,665	100.0%	
負債・資本					
買入債務	12,528	0.1%	16,420	0.2%	
その他流動負債	234,789	3.0%	231,322	2.8%	
固定負債	386,251	4.9%	417,419	5.1%	・退職給付関係の増加分
負債合計	633,569	8.0%	665,161	8.1%	
純資産合計	7,275,201	92.0%	7,531,503	91.9%	・純利益等の積上げ
負債・純資産合計	7,908,770	100.0%	8,196,665	100.0%	

平成 26年 6 月期　キャッシュ・フローの状況

（単位：千円）

	平成25年6月期	平成26年6月期	対前年比増減額	増　減　要　因
営業活動によるキャッシュ・フロー	719,016	483,638	▲ 235,377	主な増加要因：税引前当期純利益　507,812千円、減価償却費 239,231千円 主な減少要因：法人税等の支払額　213,237千円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,359,000	▲ 547,636	811,363	主な減少要因：定期預金の純増減額の増加　550,800千円 ：有形固定資産の取得　140,894千円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 105,317	▲ 98,176	7,140	配当金の支払額　97,687千円
現金及び現金同等物の増減額	▲ 745,301	▲ 162,174	583,126	
現金及び現金同等物の期末残高	570,602	408,427	▲ 162,174	

今後の事業展開 ～ コレットチャック部門

事業環境
◇金属部品加工の微細化・精密化の進展
◇大量生産品や高精度を要求されない部品は海外生産へ
◇工具の売上は機械稼働率とほぼ連動

競合状況
◇国内は数社、中国等の工具メーカーの台頭（納期・品質で不安定）

当社の事業展開
◇専用機・NC旋盤向け特殊コレットチャックの対応力向上
◇顧客の要望の充足、納期・品質の徹底

今後の事業展開 ～ 切削工具部門

事業環境
◇加工複雑化に伴い特殊刃物ニーズ拡大
◇高価な超硬工具普及により再研磨ニーズ増大
◇加工工程短縮・効率化を図るため、高精度の特殊切削工具
　へのニューズが高まる

競合状況
◇市場規模推定250億円
◇メーカー系、工具商社、各地域ごとに中小規模専業多数

当社の事業展開
◇営業地域拡張し、知名度・認知度向上を目指す
◇特殊ものへ対応範囲を拡大し、新たな顧客層の拡大に努める

今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門

事業展開
◇カム式自動旋盤（すでに製造中止）は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
◇将来的には減少傾向

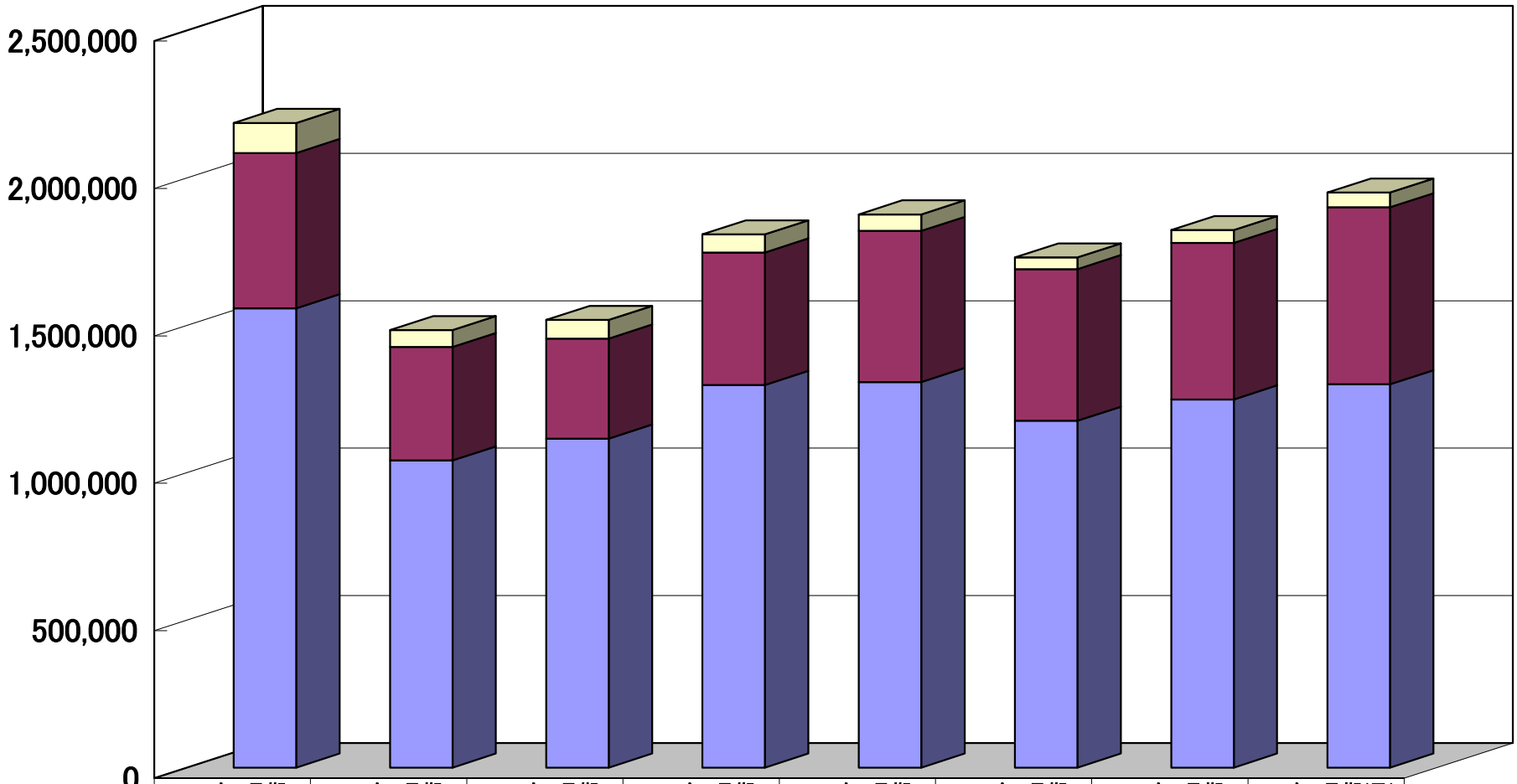
競合状況
◇6千万円弱の市場規模で既存の中小企業が継続している

当社の事業展開
◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
◇低コスト製造を徹底

添付資料 ①

部 門 別 売 上 状 況

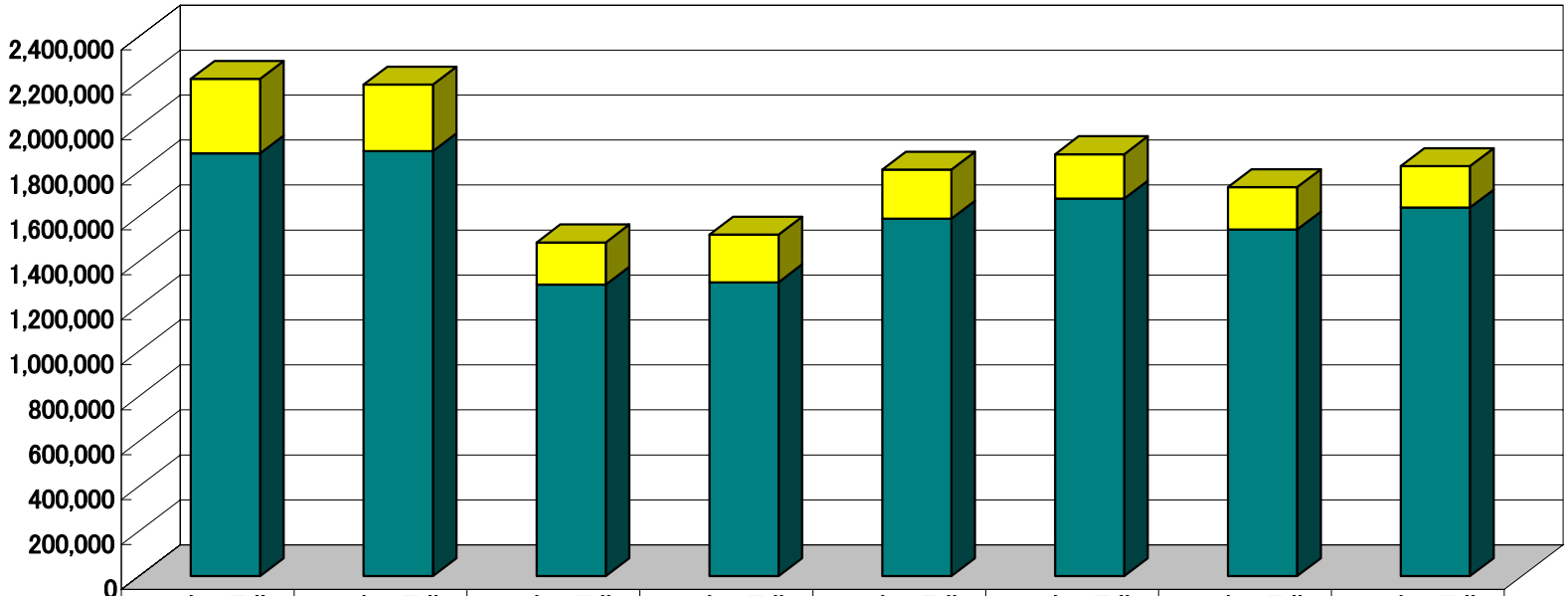
（単位：千円）



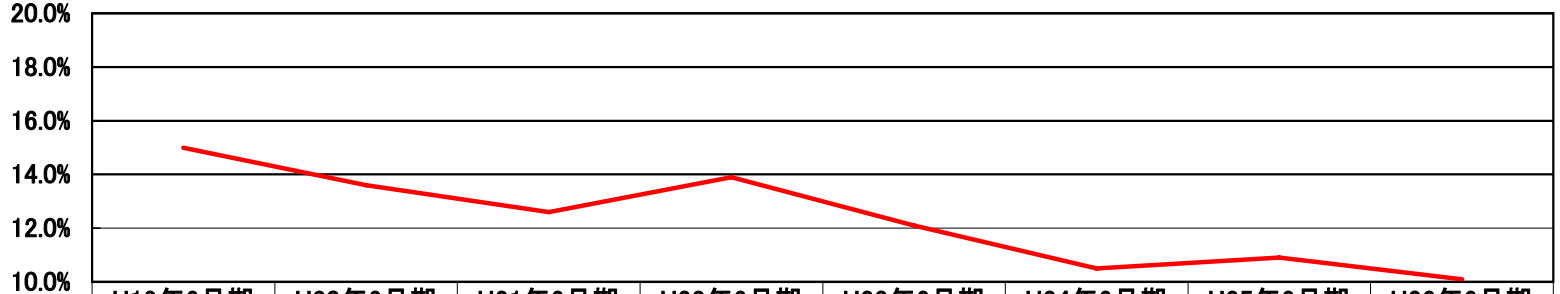
	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期	H26年6月期	H27年6月期(予)
□自動旋盤用カム	102,015	57,366	63,345	61,131	55,786	39,217	43,938	50,000
■切削工具	526,353	384,998	339,213	449,133	512,543	514,225	530,577	600,000
■コレットチャック	1,557,987	1,041,598	1,115,826	1,297,902	1,307,908	1,176,541	1,248,581	1,300,000

輸 出 売 上 状 況

（単位：千円）



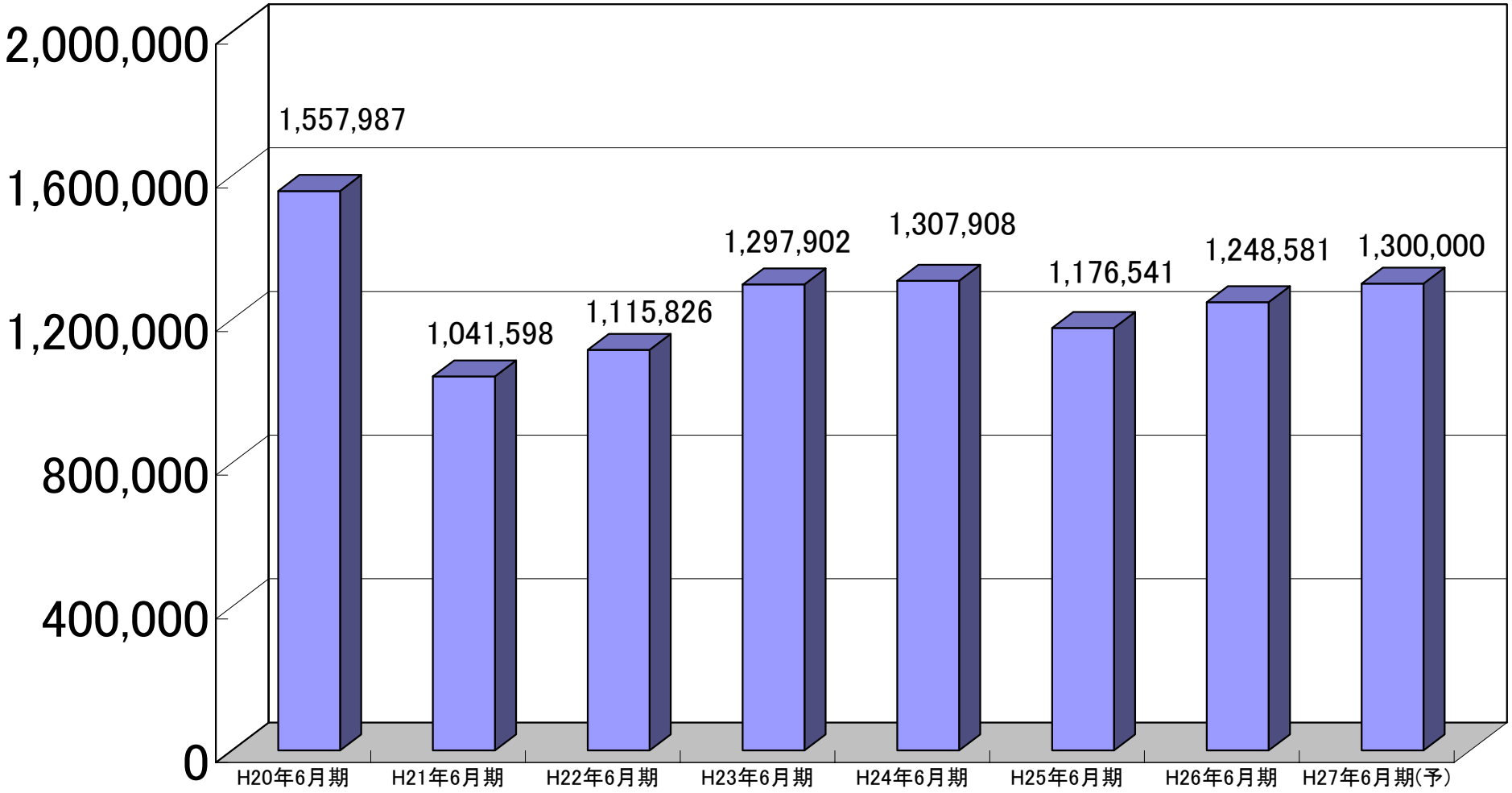
	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期	H26年6月期
輸出販売高	330,907	296,331	187,510	211,374	219,034	197,456	189,111	183,644
国内販売高	1,880,085	1,890,025	1,296,453	1,307,010	1,589,133	1,678,782	1,540,873	1,639,452



	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期	H26年6月期
輸出/売上高	15.0%	13.6%	12.6%	13.9%	12.1%	10.5%	10.9%	10.1%

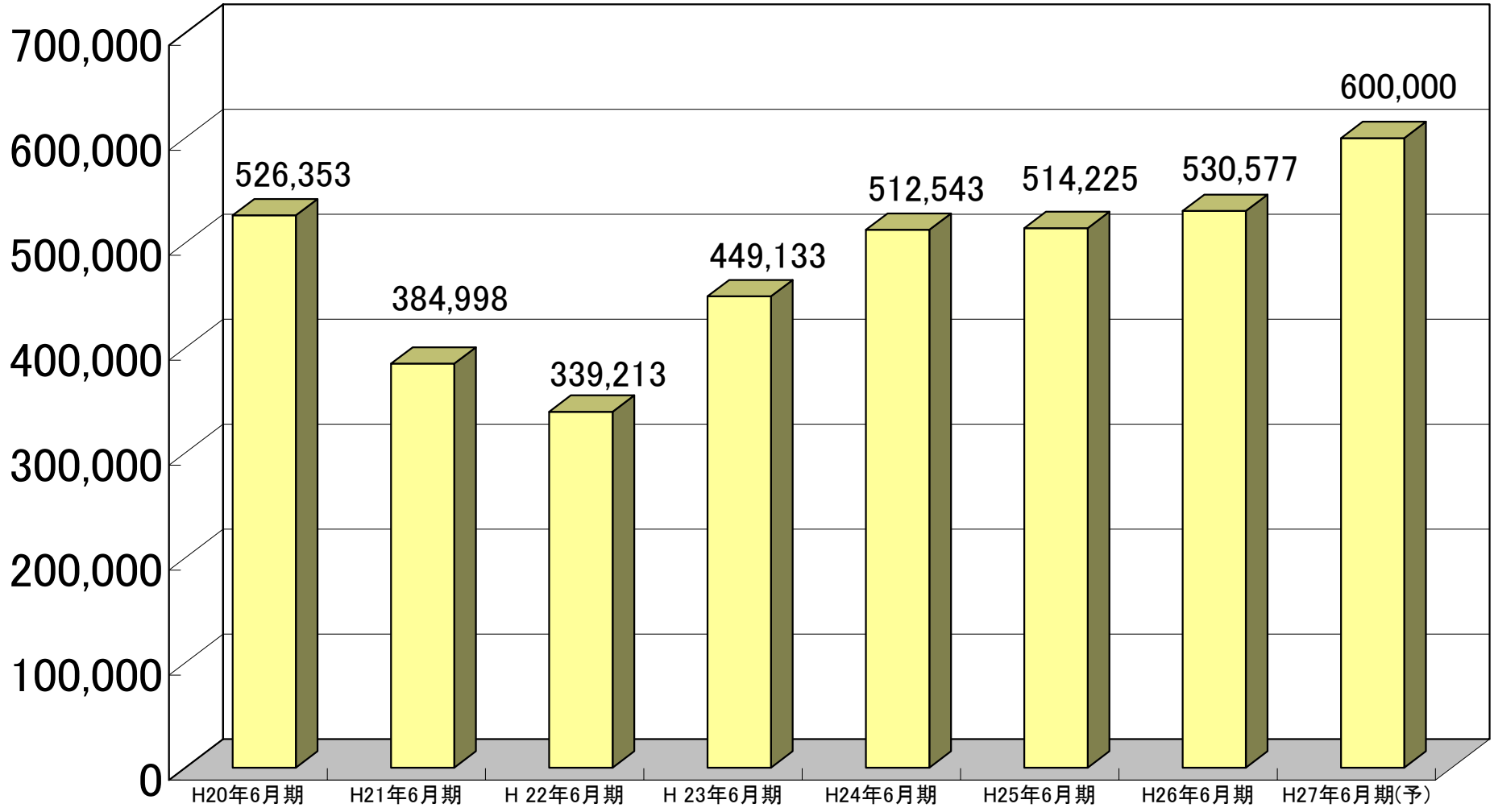
部門別状況 ～ コレットチャック部門

売上高（単位：千円）



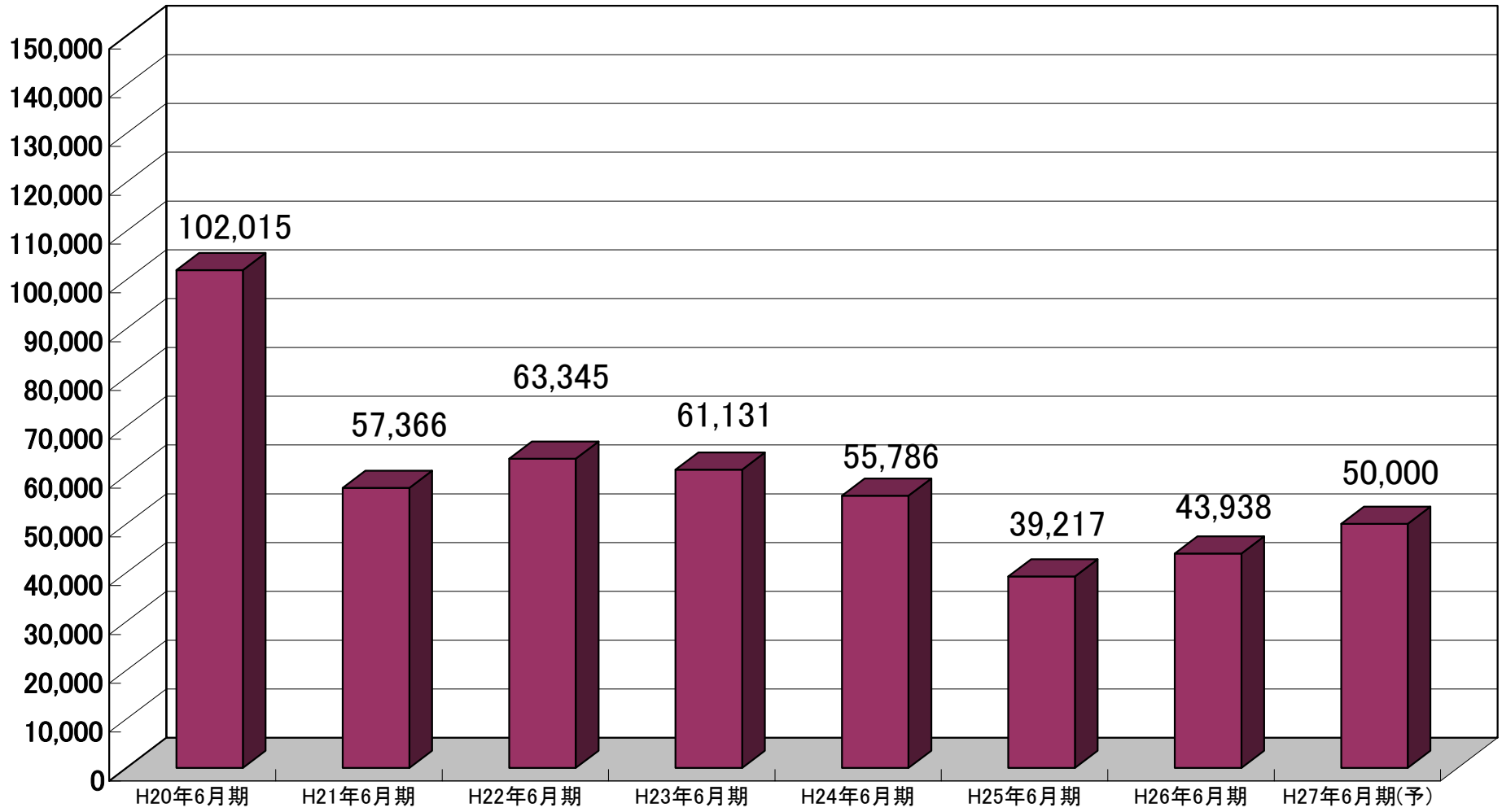
部門別状況 ～ 切 削 工 具 部 門

売上高(単位:千円)



部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

売上高(単位:千円)



設 備 投 資 と 減 価 償 却

	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期	H26年6月期
設備投資額 (単位:千円)	225,010	133,667	532,629	73,405	140,894

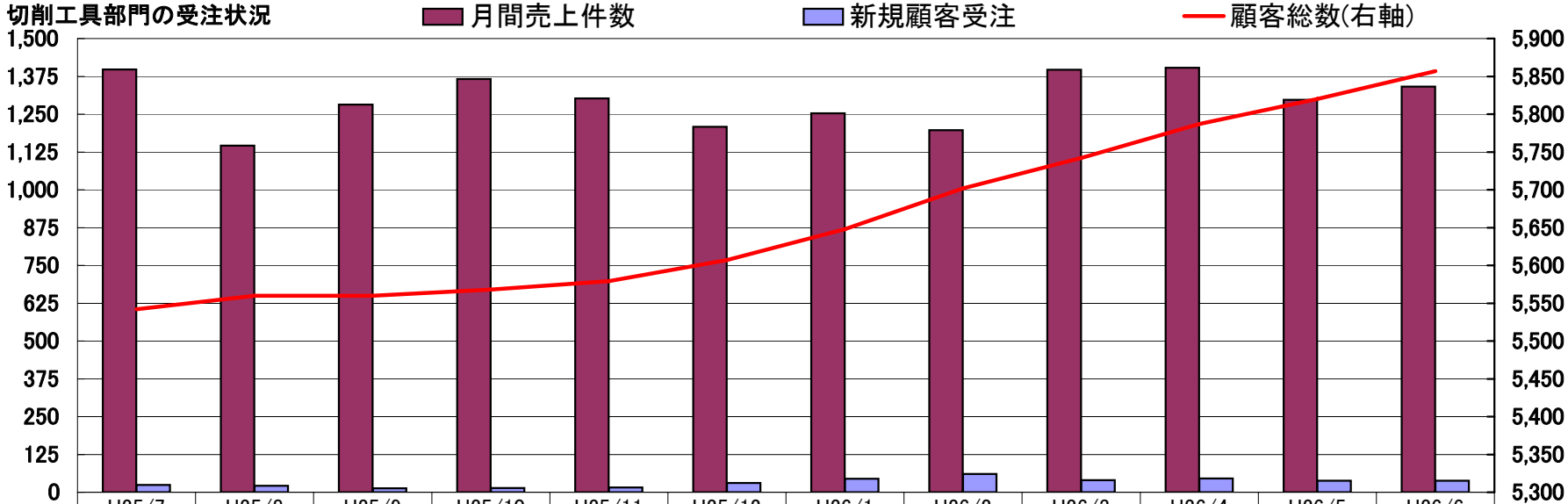
	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期	H26年6月期
減価償却費 (単位:千円)	233,795	216,881	291,159	278,748	239,231

切削工具部門の戦略と受注状況

受注体制（人材、設備、社内オペレーション）を万全にする

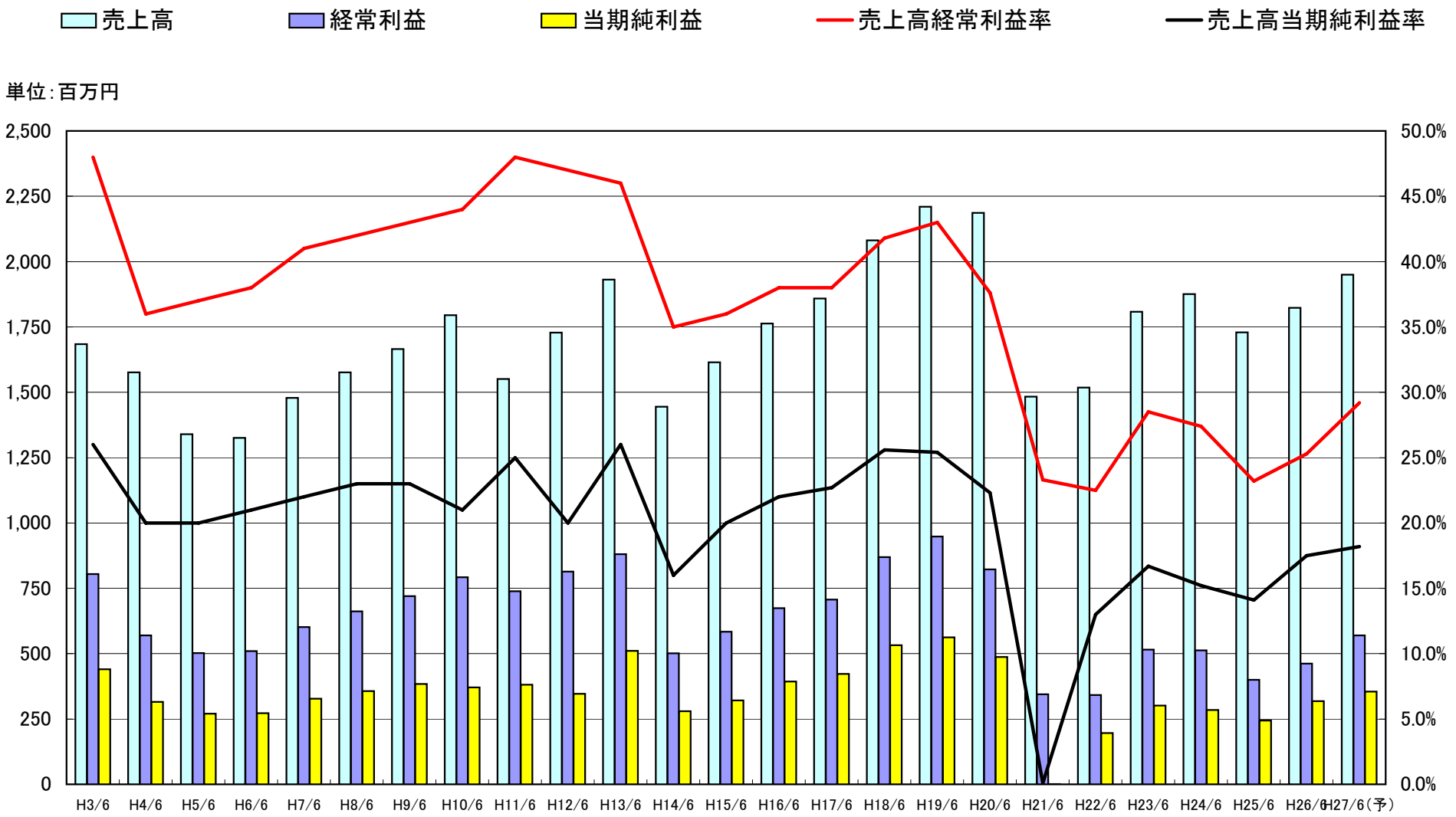
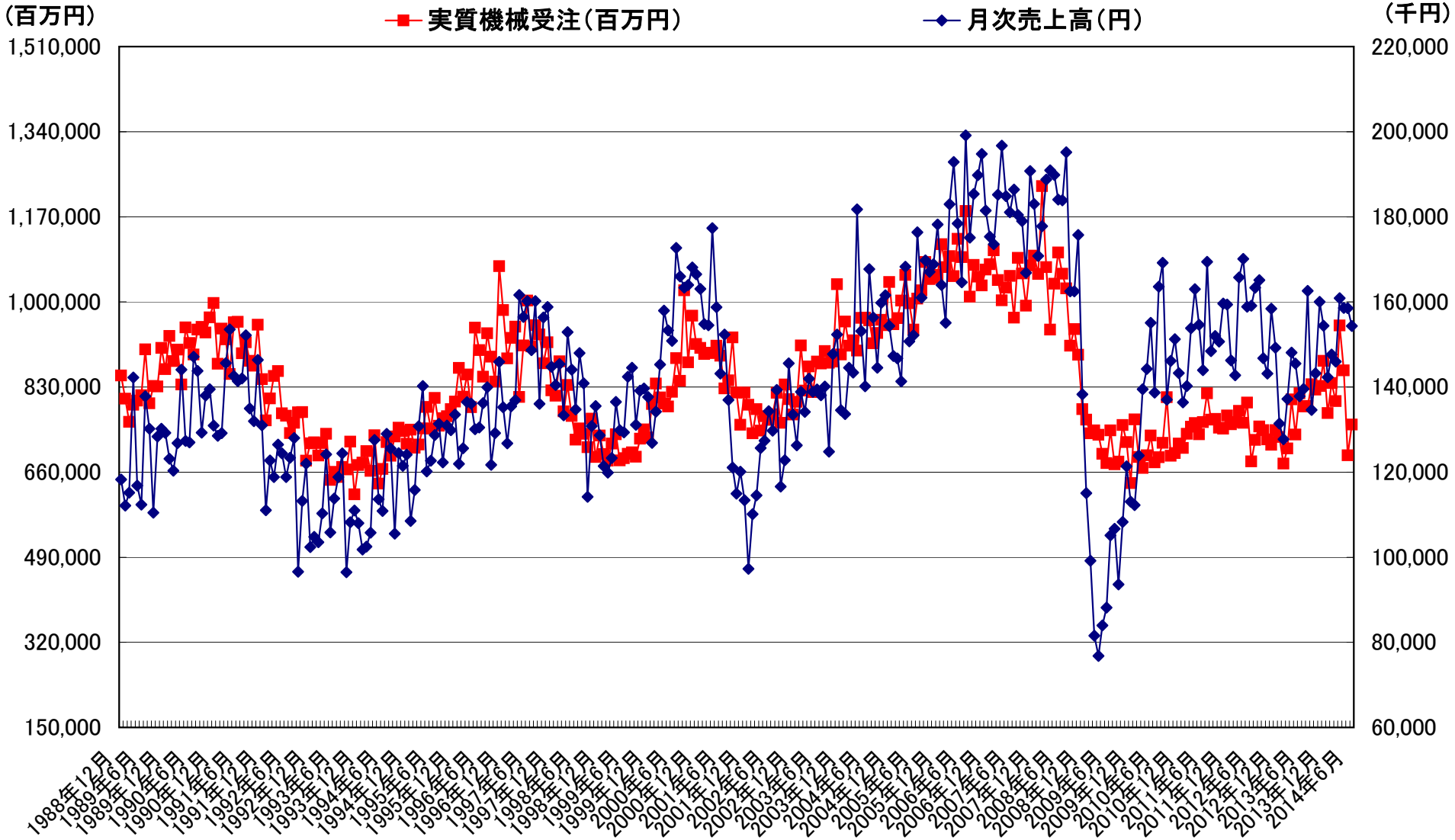
新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める



	H25/7	H25/8	H25/9	H25/10	H25/11	H25/12	H26/1	H26/2	H26/3	H26/4	H26/5	H26/6
月間売上件数	1,398	1,146	1,282	1,366	1,302	1,208	1,253	1,197	1,397	1,403	1,297	1,341
新規顧客受注	24	21	13	14	16	31	45	60	40	46	38	38
顧客総数(右軸)	5,542	5,560	5,560	5,568	5,579	5,607	5,648	5,702	5,742	5,787	5,820	5,857

業　績　の　推　移


売上高
経常利益
当期純利益
売上高経常利益率
売上高当期純利益率
単位：百万円
2,500
2,250
2,000
1,750
1,500
1,250
1,000
750
500
250
0
50.0%
45.0%
40.0%
35.0%
30.0%
25.0%
20.0%
15.0%
10.0%
5.0%
0.0%
H3/6
H4/6
H5/6
H6/6
H7/6
H8/6
H9/6
H10/6
H11/6
H12/6
H13/6
H14/6
H15/6
H16/6
H17/6
H18/6
H19/6
H20/6
H21/6
H22/6
H23/6
H24/6
H25/6
H26/6
H27/6（予）

実 質 機 械 受 注 と 月 次 売 上 高